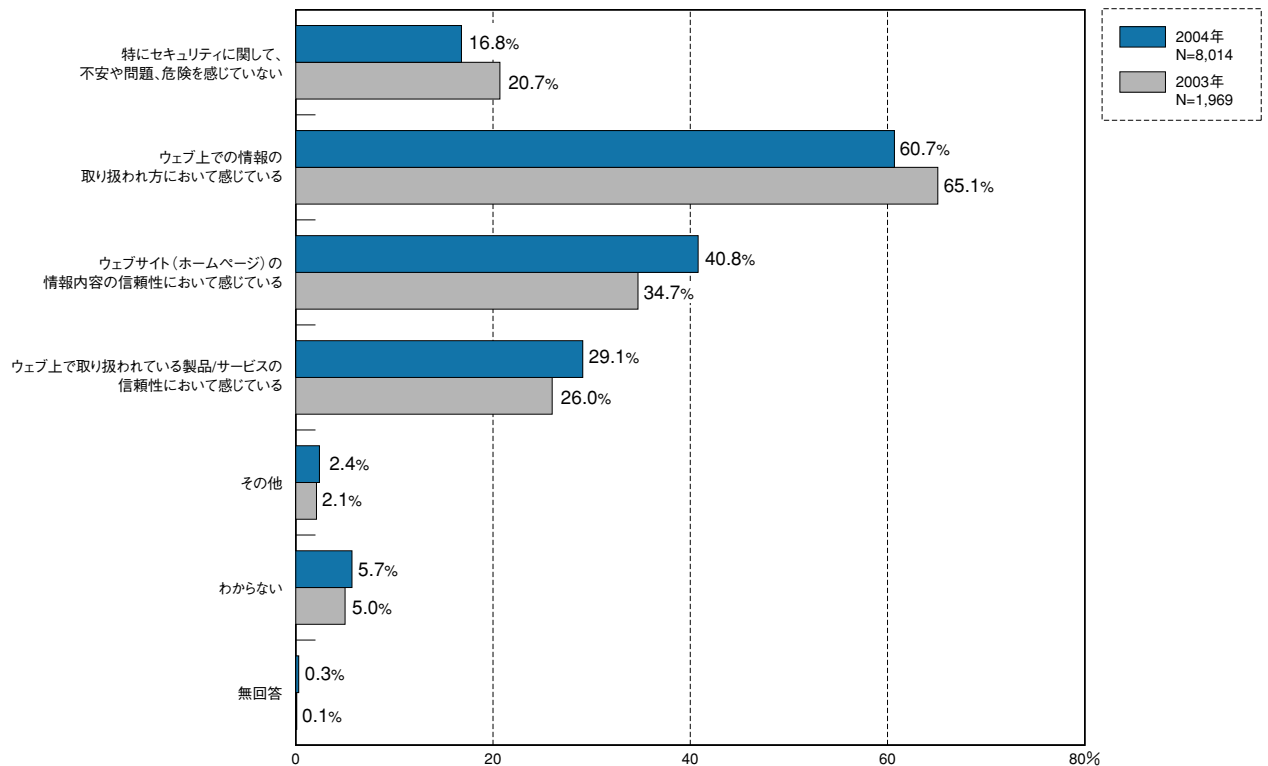


セキュリティ意識と被害状況

インターネット上でのセキュリティに関する不安は約8割

資料2-4-1 セキュリティで不安や問題を感じる分野（2003年-2004年）



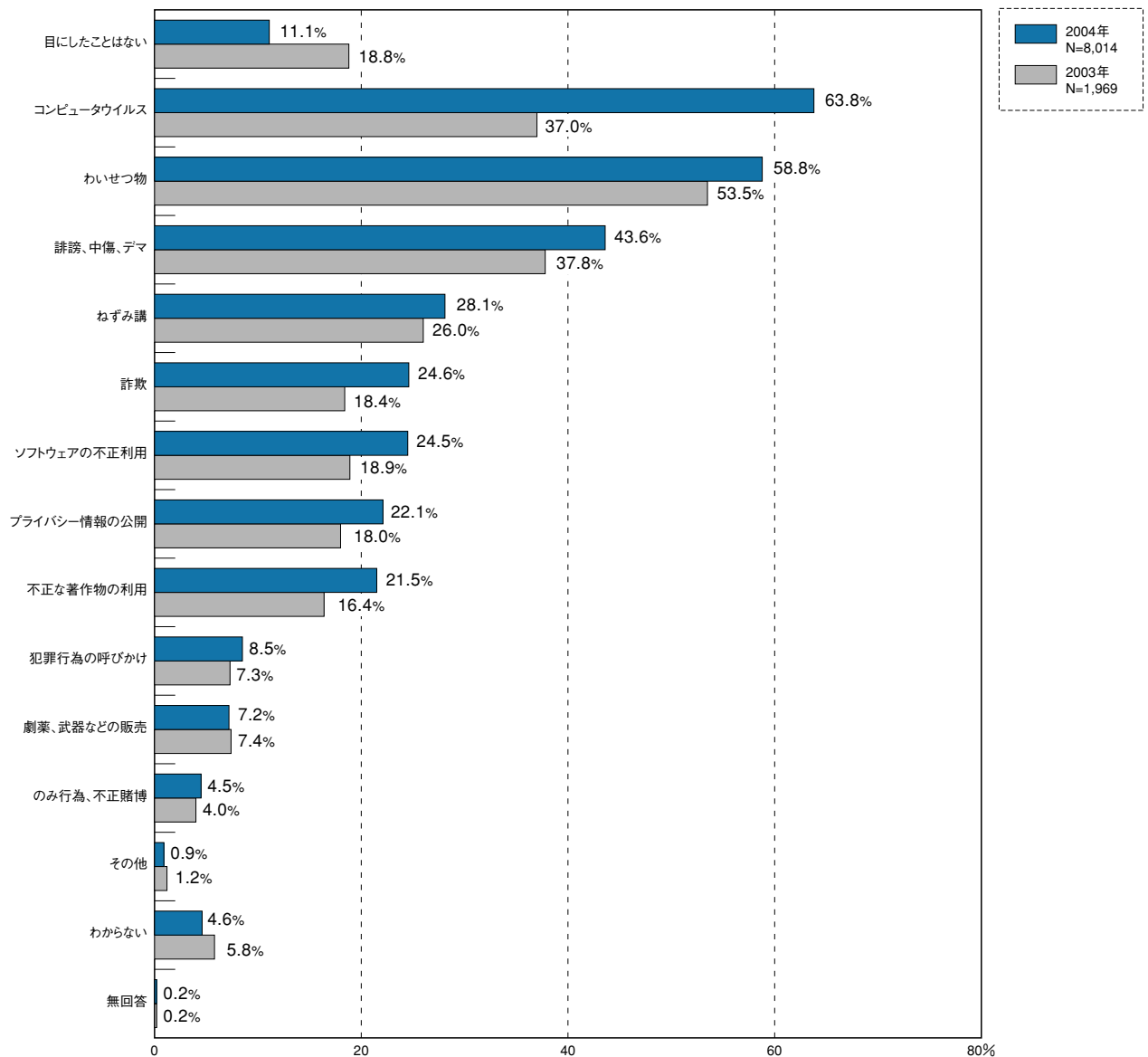
©Access Media/impress,2004

インターネット利用のセキュリティに関して、約8割が何らかの不安や問題、危険を感じている。中でも個人情報の漏洩など、「ウェブ上での情報の取り扱い方」が60.7%で最も高い。また、「ウェブサイトの情報内容の信頼性」についても昨年より6.1%増加しており、インターネットからの情報が他人に与える影響力が大きくなってきていることがうかがえる。

セキュリティ意識と被害状況

有害情報の接触率が高いのはコンピュータウイルスで63.8%

資料2-4-2 有害情報への接触状況（2003年-2004年）



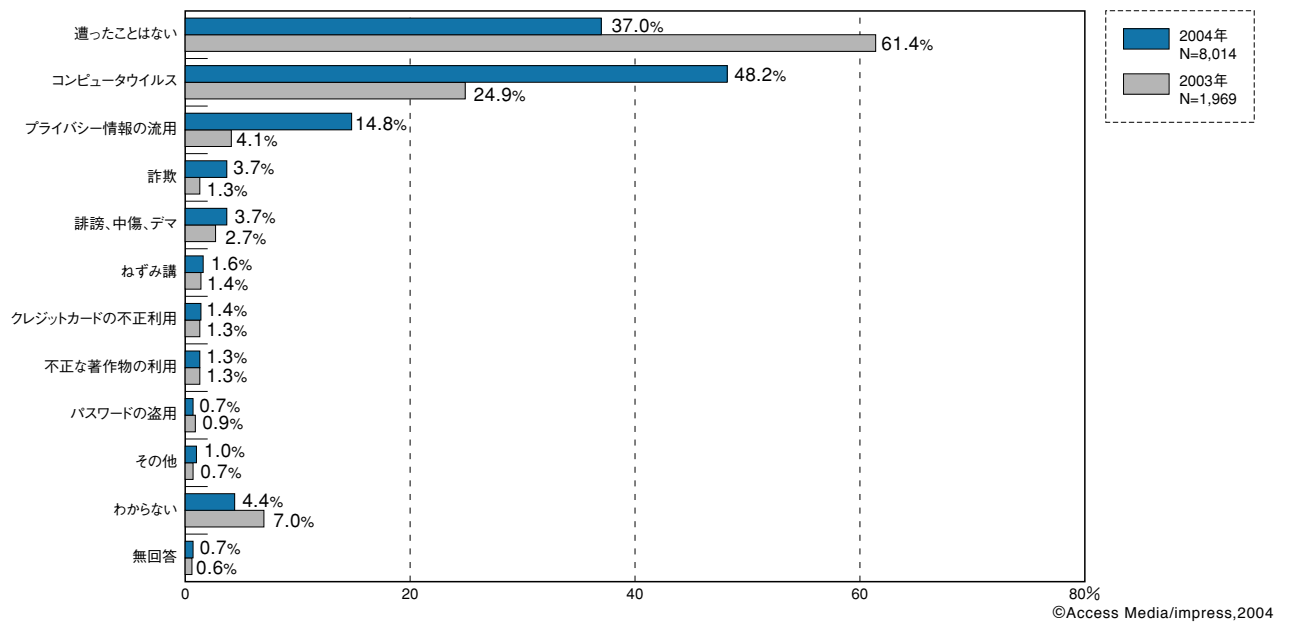
©Access Media/impress,2004

有害情報を目にしたことがないインターネット利用者は、わずか11.1%である。今年は、「コンピュータウイルス」の接触率が63.8%と昨年の2倍近く増加しており、ブロードバンド化の常時接続などの弊害がここに反映されている。また、今年は全体的に有害情報への接触項目の比率が前年より高い。

セキュリティ意識と被害状況

被害経験者は約6割、被害内容はコンピュータウイルスで48.2%

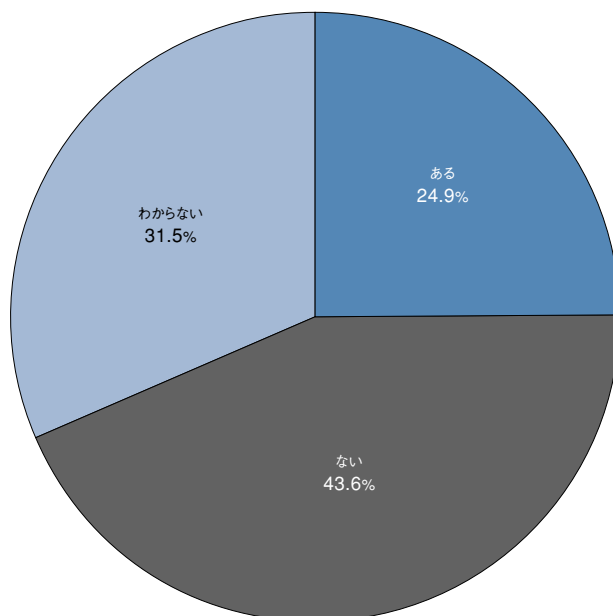
資料2-4-3 迷惑行為への被害経験 (2003年-2004年)



迷惑行為の被害経験に「あったことはない」は37.0%と昨年の61.4%から大幅に減少し、被害経験者が増加したことがわかる。またその内容は、「コンピュータウイルス」の48.2%が突出しており、世界各国でウィルスメールが猛威を振るった状況が伺える。また、管理側の体制が問われている「プライバシー情報の流用」(14.8%)が前年比10%増で被害が増加している。

個人情報の漏えい被害者は24.9%

資料2-4-4 個人情報漏洩の被害経験 N=8,014

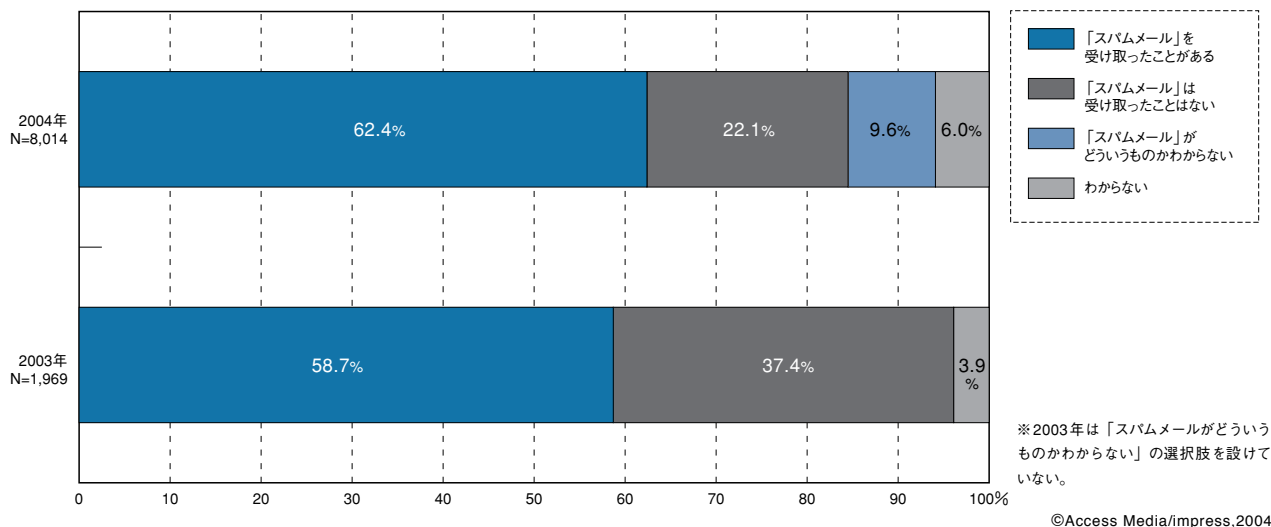


個人情報の漏えいについては、「被害を受けていない」が43.6%で被害者を上回っているが、「わからない」が31.5%いることから、個人が認知していないだけで、情報が漏えいされているかもしれないとの不安を持っている利用者も含まれると推測される。

セキュリティ意識と被害状況

62.4%が迷惑メール受信経験者

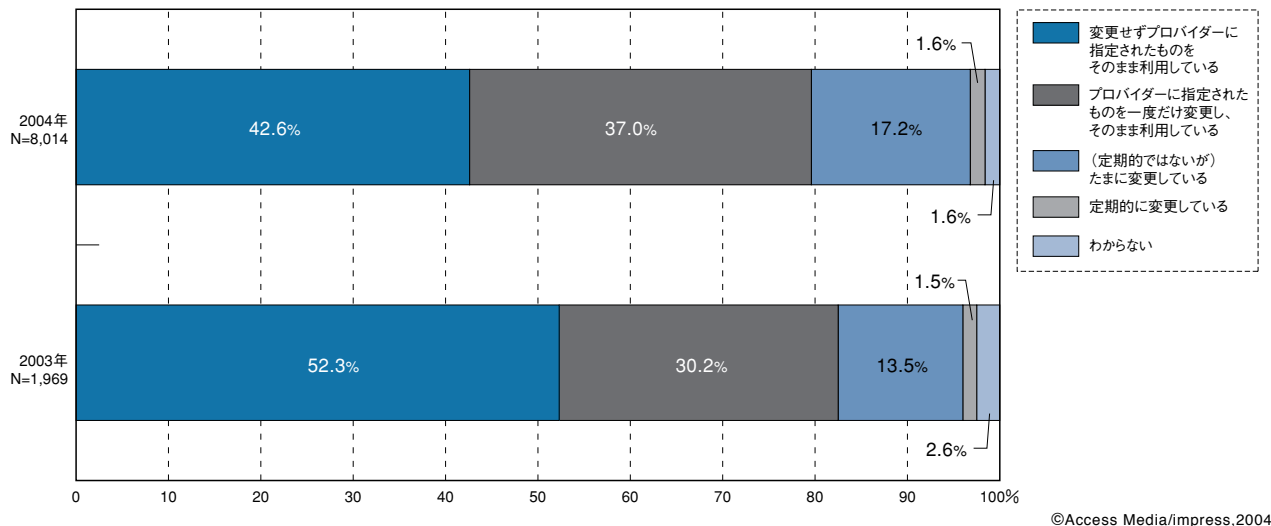
資料2-4-5 迷惑メール（スパムメール）の受信経験（2003年-2004年）



迷惑メール（スパムメール）被害者は、62.4%と昨年と比較すると約3%の増加である。迷惑メール対策として、メーカーや、ISPサイドで不特定多数の人に承諾がなく送られてくるチェーンメールやセールス、勧誘メールなどの受信を防止できる機能・サービスが提供されており、今後の被害縮小が望まれる。

パスワード変更経験者は55.8%。定期的に変更しているのはわずか1.6%

資料2-4-6 ISP接続やメールのパスワード変更状況（2003年-2004年）



ISP接続やメールのパスワードを変更せずにそのまま利用している利用者は、42.6%と前年より約1割減少し、パスワード変更意識が向けられていることがわかる。パスワード変更を啓蒙するには、ISP側から定期的利用者に対して警告を出すなどの対策が必要とされる。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp